

提供講座 平成17年度の映像関連講座とその関連事業の活動報告

角 和博（佐賀大学文化教育学部・映像関連講座運営担当）

1. 映像関連講座

平成17年度4月より、佐賀県の受託研究を受けて映画評論家の西村雄一郎氏を非常勤講師としてお迎えし、佐賀大学教養教育運営機構の授業科目として前期「映像形態論」、後期「映画芸術論」を開講した。使用したテキストは、「一人でもできる映画の撮り方」（西村雄一郎著、洋泉社）であった。授業の構成はつぎのようである。まずテキストに沿って映画製

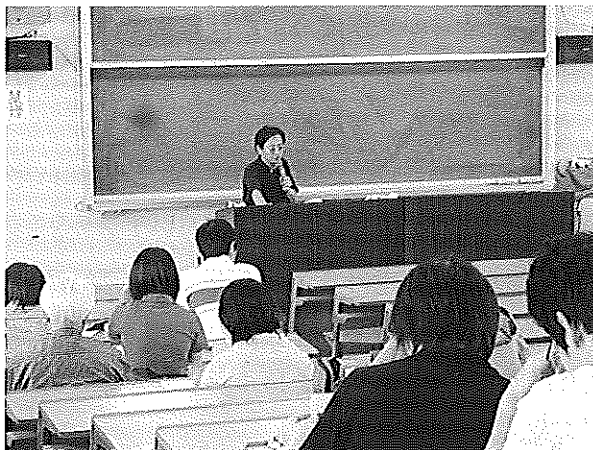


図1 西村雄一郎氏の授業風景



図2 映像関連講座のビデオ撮影実習

作の基本技術をわかりやすく解説する。しばしばビデオカメラや照明機器などの使い方を演示する。

6月からは、映像関連講座の受講生を中心に立ちあげたふるさと映像塾のメンバーで本格的に撮影実習がはじまった。実習内容は、ビデオ撮影の基本で、ポジション、アングル、カット、ショット（フルショット、バーストショッ

ト、アップ）パン、ズーム、移動ショット、めまいショット等を取り上げた。

2. 講演会・ワークショップ

映像関連講座では、平成17年度に特別講演会を2回行った。平成17年10月13日(木)に211番教室で、村木与四郎氏と西村雄一郎氏の対談形式で、黒澤映画のほとんどの作品の美術監督を担当された村木氏の映画製作に対する考え方を100枚以上の記録写真の



図3 佐賀城鯨の門前の村木与四郎氏と西村雄一郎氏

スライドと解説で知ることができた。

平成18年1月26日(木)は、特別講演として、映画「もっとしたたかにもっとしなやかに」(1979)や映画「もう頬づえはつかない」(1979)等の脚本を手がけられた脚本・演出家の小林竜雄氏に台本の書き方について講義を行っていただいた。授業はテレビドラマ「オトコの居場所」の台本をもとに基本的な台本の書き方を実地に指導し、その後簡単な状況設定で台本を書く演習を行うものであった。

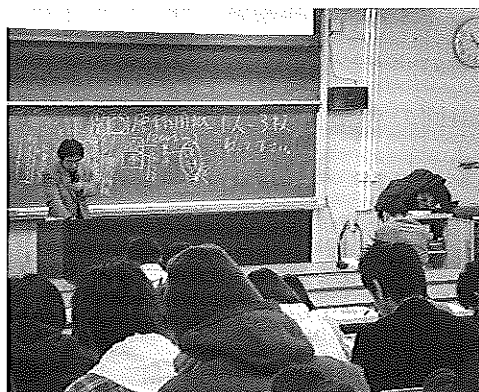
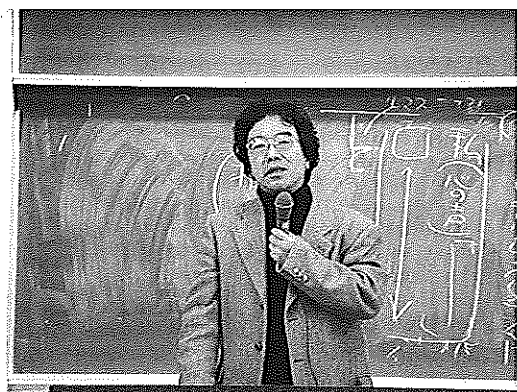


図4、図5 小林竜雄氏の台本指導の授業

3. ふるさと映像塾

平成16年度から佐賀県ではデジタルコンテンツ産業の拠点都市を目指す「アジアのハリウッド構想」を打ち出し、平成17年6月に佐賀県と佐賀大学は相互協力協定を締結し、映像文化に根ざした人材育成など佐賀に定着させるための取り組みに着手しはじめた。

この事業の一環として佐賀大学では「映像関連講座」として映画評論家の西村雄一郎氏に非常勤講師を依頼し、またビデオ制作活動団体として「ふるさと映像塾」を立ち上げた。

佐賀大学ふるさと映像塾規約（平成17年6月1日制定）

- 1 目的：本塾は、映像に関する鑑賞眼や映像制作技術を向上させ、地域の映像文化を活性化させることを目的とする。
- 2 活動：本塾は、上記の目的を達成するため、以下の活動を行う。
 - 1) 映画および映像コンテンツの鑑賞
 - 2) 映像制作に関わる人材育成
 - 3) 地域の自然や文化の映像による記録・保存
 - 4) 地域からの要請に応じた映像制作
 - 5) その他
- 3 組織：本塾は、塾長・副長・事務局長・師範、および塾生によって構成され、その事務局を佐賀大学内におくこととする。
- 4 塾生：本塾の塾生は、佐賀大学学生、および映像文化に関心のある一般人とする。

5 財政：本塾は、佐賀県アジアのハリウッド構想およびその他の資金によって運営される。

6 細則：この規約に定めるもののほか、本塾の運営等に関し必要な事項は、本塾の会議によって別に定められる。

附則：この規約は、平成17年6月1日から施行する。

この「ふるさと映像塾」は、立ち上げの準備段階である平成17年3月19日の鳥栖スタジアムでのサガン鳥栖の応援メッセージのweb動画配信からはじまり、その後11月末までの連続21回のweb配信を行い他のメディアにも影響を与えるほど応援メッセージブームを巻き起こした。また栄えの国まつりの記録ビデオ製作、平成18年10月29日の「豊かな海づくり」に向けた撮影台本づくり、漁業関係者も含めた植樹祭の撮影、シチメンソウの四季の変化等、下記のようにさまざまな取り組みを行ってきた。

平成17年6月2日 映画の撮影技術や手法を解説するビデオの制作（図2）

平成17年3月19日～11月26日 鳥栖スタジアムにおけるサガン鳥栖への応援メッセージの取材・編集・動画配信（図6、7、8、9）

平成17年8月6日 第34回栄の国まつりの撮影・編集
（塾生の1人が作品をビデオコンテストに出品）

平成17年9月25日 佐賀県で開催予定の「第26回全国豊かな海づくり大会」のプロローグ用ビデオ制作のための有明海の撮影（図12）

平成18年1月22日～3月15日 「豊かな海づくり大会」の取材台本づくり（図14、15、16）

映像塾の活動をさらに広げ活性化させるために、映像塾では多くの一般の方々の参加者を募集した。参加登録した方々には、MLリストに登録したり、FAXや郵送等で活動予定や内容を連絡した。また実際の撮影・編集に加わったり企画やアイデアを話し合ったりした。

表 平成17年度のホームでのサガン鳥栖の試合の撮影・編集の結果

実施期間	対戦カード	対戦時間	撮影者（人）	編集者（人）
3／19	横浜 FC	14:00—16:00	6	1
4／2	京都パープルサンガ	14:00—16:00	3	2
4／23	モンテディオ山形	14:00—16:00	3	2
5／8	湘南ベルマーレ	14:00—16:00	6	2
5／21	ベガルタ仙台	14:00—16:00	5	4
6／4	ヴァンフォーレ甲府	14:00—16:00	6	4
6／11	ザスパ草津	14:00—16:00	7	5

6 / 25	徳島ヴォルティス	19:00—21:00	7	3
7 / 2	水戸ホーリーホック	19:00—21:00	6	3
7 / 13	コンサドーレ札幌	19:00—21:00	6	3
8 / 2	京都パープルサンガ	19:00—21:00	6	4
8 / 13	横浜 FC	19:00—21:00	5	3
8 / 27	湘南ベルマーレ	19:00—21:00	6	3
9 / 4	アビスパ福岡	19:00—21:00	7	3
9 / 17	モンテディオ山形	18:00—20:00	6	4
10 / 1	ベガルタ仙台	14:00—16:00	6	6
10 / 15	ザスパ草津戦	14:00—16:00	5	4
10 / 30	ヴァンフォーレ甲府	14:00—16:00	7	4
11 / 6	徳島ヴォルティス	14:00—16:00	5	5
11 / 19	水戸ホーリーホック	14:00—16:00	4	6
11 / 26	コンサドーレ札幌	13:00—15:00	8	6



図 6 鳥栖スタジアムでサガン鳥栖の応援メッセージの取材



図 7 鳥栖スタジアムでサガン鳥栖の応援メッセージの取材



図8 鳥栖スタジアムでのサガン鳥栖のサポーターの様子

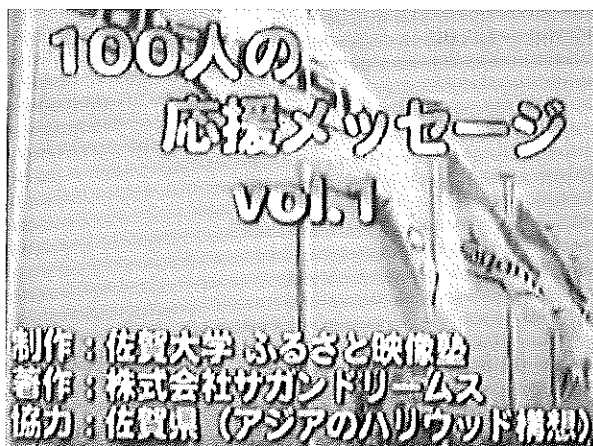


図9 サガン鳥栖公式ホームページ
<http://www.sagantosu.jp/supporter/index.html> (サガン鳥栖のホームでの試合で応援する観客の応援メッセージを取材し、編集して上記のサイトでweb配信している)



図10 豊かな海づくり大会プロローグビデオ制作のために有明海を撮影する様子



図11 西村雄一郎氏と水野晴夫氏の対談風景（佐賀セントラル劇場 平成17年10月1日）ふるさと映像塾生が二人の対談を取材した。

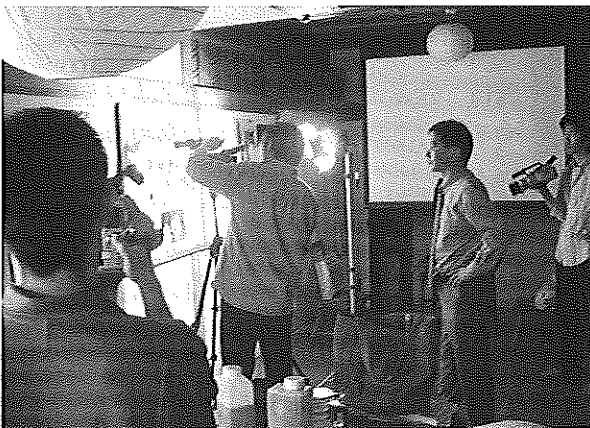


図12 NHK 番組「映画ほど！素敵なものはない」第18回アランドロン特集（平成17年10月23日放送）の撮影風景
番組で出すクイズの解説者としてルネ・クレマン監督に直接インタビューした西村雄一郎氏を松川屋2階のシアタールームで取材する様子をふるさと映像塾生が撮影している。



図13 西村雄一郎氏の映像関連講座は、すべて収録され、e-learning スタジオでe-learning コンテンツが作成されている。

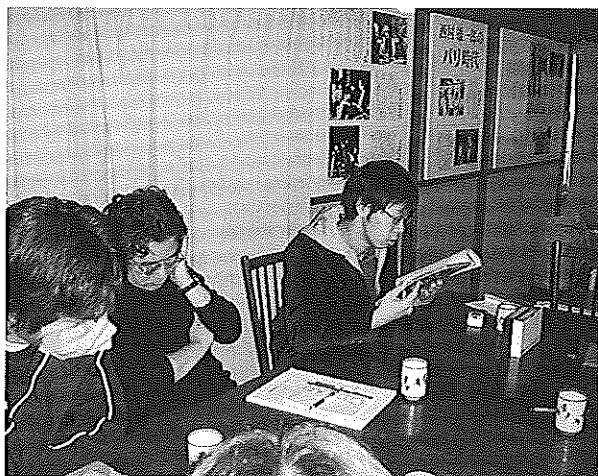


図14 小林竜雄氏から台本作成のための基礎指導を受ける（平成18年1月22日 西村雄一郎氏の実家「松川屋」2階のシアタールーム）



図15 佐賀大学公開講座「イメージを映像にするビデオ制作セミナー」で講師の広橋時則氏（ディレクター）と花森勇氏（カメラマン）（ともに株式会社エスプロジェクト所属）からふるさと映像塾メンバーが取材台本の作成指導を受ける（平成18年1月25日から3月8日まで全8回 アバンセ放送スタジオ）



図16 西村雄一郎氏、広橋時則氏、およびふるさと映像塾メンバー合同の最終取材台本の検討会を行う（平成18年3月15日 文化教育学部附属教育実践総合センター IT 講義室）